

アパート・マンションに代わる いま注目の新しい福祉系収益物件とは？

皆様、新築1棟アパート投資したことありますか？今回はそれに代わる新しい収益物件としての収益物件のご紹介です。アパート・マンションに代わる収益物件として、オーナー様の注目を集めています。

実際に2020年10月の収益物件事例が、下記になります。

福祉系収益物件の事例

購入金額 : 10,600万 (土地込み)
年間収入 : 840万
表面利回り : 約8% (840万÷10,600万)
建築物 : 障がい者グループホーム2棟
プラン : 1棟10室×2棟+土地代



※建築物のイメージ図

「今回、福祉系収益物件の購入を決めた理由とは？」
～実際のオーナー様の声をお伺いしました～

①新築・土地込みで、利回り8%と魅力的な物件であった

今回は福岡県の物件ということで、アパート・マンションの場合の一般的な利回り約6%と比較して、今回の物件は高い利回りである。土地込みであること、新築であることをふまえると非常に魅力的な物件であると感じた。

②投資商品としてのリスク分散、投資商品の幅が広がった

今までの投資はアパート・マンションのみであったということで、地域の入居率が下落した際などのリスクが大きかった。今回は、初めて福祉系物件に投資したということで、投資商品の幅が広がった。今後の投資商品として様々な選択肢が増え、投資に関して柔軟な考えがもてるようになった。

③銀行融資が通りやすかった

今回は、福祉系物件ということで銀行からの評価も高く、融資がスムーズに決まった。福祉系物件の、国からの保険収入による安定収入があるという特徴から、収支の計画の面も好印象を与えられたのではないかと感じた。

福祉系収益物件に興味をお持ちのオーナー様は是非ご相談下さい！